

■一年間を振り返って

桂川中学校 校長 石田英喜

やわらかな春の日差しがうれしい季節になりました。来る3月10日には、令和3年度第75回卒業式が行われます。本校より、98名が卒業いたします。また、3月24日には、一年生と二年生が、それぞれの学年を修了し、進級することになります。大変喜ばしいことです。

この一年、本校の学校教育目標である『自ら学び、夢の実現に向け努力を重ね、たくましく前進する生徒の育成』を目指し、未来の桂川町を担う知・徳・体のバランスのとれた生徒を育成するため、学力や体力の向上を重点課題に掲げ、全教職員が力を合わせて実践してまいりました。

しかしながら一昨年度からの新型コロナウイルスの感染拡大により例年通りの教育活動を展開できなかったことも事実です。

そのような中でも、子どもたち一人一人の一年間の心身の成長・発達には目を見張るものがあります。スポーツ大会や文化鑑賞会では、3年生が日に日に大人へと成長していく逞しい姿を見ることができました。また、その節

目、節目の行事では、PTAのみなさんによる様々な学校に対するご支援とご協力をいただきました。ありがとうございました。

今日、褒める教育ばかりがもてはやされていますが、中学生を相手に褒めてばかりはいられません。いけない行動や態度には、きちんと指摘したり、責任を取らせたりすることは大切なことです。社会に通じる大人に成長させるためでもあります。教育は発達段階に応じて時に優しく、時に厳しく、このバランス感覚が大切です。また、厳しさを与えるときも、その心底に「愛情」がなければいけません。そこを間違わなければ、大人の気持ちは子どもに伝わるようです。我々大人がこのバランス感覚を失わないようにしなければなりません。どんなに厳しく生徒を叱っても、卒業式にはその生徒のために涙するような教師でありたいものです。今後ともご支援のほどよろしくお願いいたします。

■もうすぐ一年生

桂川幼稚園 園長 城石俊弘

新型コロナウイルスの感染が広がる中、二月初めに桂川幼稚園からも感染者が確認され、学級閉鎖をさせていただきました。感染の広がりや心配していましたが、その後は何とか感染も収まり、教育活動を実施することができています。これも、園内の感染防止対策だけでなく、ご家庭での感染防止対策にご配慮いただいていることに感謝いたします。

さて、卒園、小学校入学を一か月後に控え、ひまわり組(5才児)は、小学校入学に向けて、集団でのきまりやルールを日常の保育を通して再確認するとともに、小学校での学びに順応するために、「かずのおけいこ」を体験しています。

この「かずのおけいこ」は、早くできることや能力や知識を試すことが目的ではなく、クラスみんなで一緒に同じ課題に取り組む、楽しく会話をしながら進めていくことで、子どもたちに自信を持たせながら、課題に取り組む意欲を引き出し、数の概念を自然と身につけさせていくことを目的としています。

また、たんぼ組(4才児)も「ぐくしゅうあそび」のワークを取り入れ、日常生活場面の中から、仲間集め、言葉、ル

ルなど、子どもたちの知的好奇心を引き出すようにしています。

さらに、ちゅうりっぷ組(3才児)では、お兄さんやお姉さんの様子を見ながら、「やってみたい」という意欲を掻き立てるようにしています。

小学校に進学するにあたって、幼児期に身につけさせなければならぬことをしっかりと果たしていくことが、小学校への「つなぎ」であり、幼児教育の大きな目的でもあります。

このような体験を多く積んだひまわり組の子どもたちは、小学校でも大きくはばたいてくれるものと願っています。

まさに、園のテーマである「はばたく桂川幼稚園」を実践してくれていることはうれし限りです。

次年度の入園希望園児も16名となり、桂川幼稚園の役割も大きくなると思っています。保護者の皆さまや地域の方々からのご期待にこたえられるよう頑張っていますので、なお一層のご支援、ご協力をお願いします。

そして、ひまわり組の子どもたち、自信をもって小学校に進んでください。期待をしています。

